



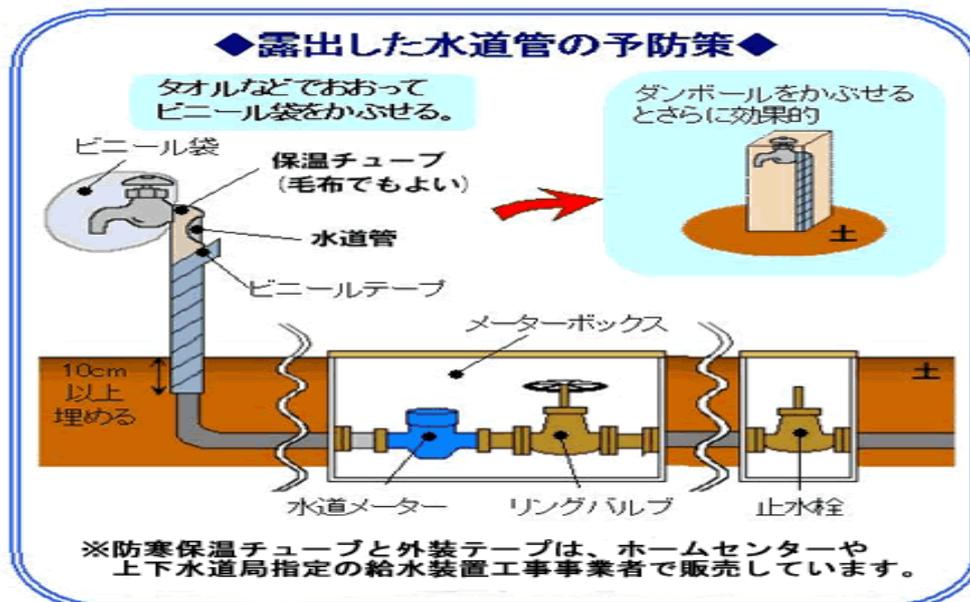
今月のテーマは・・・「降雪・積雪・凍結への備え」

●水道管の凍結対策

昨今、熊本県内で生活をしていると、阿蘇地方を除き、水道管凍結の経験がありません。しかし、夜間の寒気の影響で気温が-4度以下(風当たりの強い所は-1度~-2度)になると、水道管の水が凍結したり、水道管が破裂する恐れがあります。いざという時に慌てず対処できるように、水道管にも冬じたくが必要です。

(1)凍結の予防策

じゃ口から鉛筆の芯ぐらいの水をお休み前から一晩中流してください。(バケツ等に水をため、再利用しましょう。)ソーラー温水器やボイラーは、元栓を閉め水抜きをしてください。(詳しくは、メーカーにお尋ねください。)屋外に露出している水道管は、毛布や保温チューブなどを巻いて保温してください。



(2)凍結して水が出ない時の処置方法

水道管の水が凍って水が出なくなっても、日中気温が上昇してくれば水は出るようになります。どうしても急いで水が必要な場合は、慌てず、凍った部分にタオルなどをかぶせ、ぬるま湯をゆっくりかけて溶かしてください。この場合、熱湯を直接かけると水道管が破裂する恐れがありますので、絶対にやめてください。



●過去の湧心館高校の「ぼうさい通信」

本校のHPにアクセスしてみよう。

HP <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>ぼうさい通信(毎月16日発行)